



問題

- 1 早期再分極でしばしば観察される波形の形は？
 - a) J点の下降とST低下
 - b) 鋭角的なST上昇と陽性T波
 - c) J点上昇と下に凸のST上昇
 - d) 広範囲のPR低下
- 2 サドルバック型ブルガダ波形に関する記述で正しいのは？
 - a) 幅広い陽性T波
 - b) 深く左右対称な陰性T波
 - c) 振幅の大きいP波
 - d) PR間隔の延長
- 3 コーブド型ST上昇の形状として適切なものは？
 - a) 上に凸の鋭角的な形
 - b) 下に凸のゆるやかな曲線
 - c) 凸凹のサドル型
 - d) 入り江状の丸いカーブ
- 4 ブルガダ波形を強調するために実施すべき操作は？
 - a) V1とV2の電極を1肋間下へ移動
 - b) V1とV2の電極を1肋間上へ移動
 - c) aVRにリード追加
 - d) 高周波フィルターを下げる
- 5 たこつぼ型心筋症の特徴は？
 - a) 下に凸のST上昇
 - b) ST上昇がV1から出現しないこと
 - c) PR低下があること
 - d) コーブド型ST上昇であること
- 6 ST上昇において鏡面現象（レシプロカルチェンジ）が診断に重要となるのは？
 - a) 早期再分極
 - b) 急性心筋梗塞
 - c) 心膜炎
 - d) たこつぼ型心筋症
- 7 コーブド型のST上昇が認められ、突然死の既往がある場合に考えるべき疾患は？
 - a) WPW症候群
 - b) 心膜炎
 - c) ブルガダ症候群
 - d) 心房粗動
- 8 心電図でST上昇を認めた際、ブルガダ症候群と早期再分極の鑑別に有用な所見はどれか？
 - a) ST上昇が下に凸か上に凸かの形状
 - b) QRS波の振幅
 - c) aVR誘導のST変化
 - d) T波の高さ
- 9 ブルガダ症候群の診断確定のために必須の心電図所見は？
 - a) V2誘導のサドルバック型
 - b) V1誘導のデルタ波
 - c) V1～V2でのコーブド型ST上昇
 - d) V5での高電位R波
- 10 以下のST上昇所見のうち、最も緊急性が高く治療介入を急ぐべきものは？
 - a) V2～V5でのJ点上昇と高いT波、J波あり
 - b) V1～V2でコーブド型ST上昇と陰性T波
 - c) II, III, aVFでST上昇、I, aVLでST低下
 - d) V1～V2でサドルバック型ST上昇